

TSUDOI

スタンダードプラン
週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測

◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

◆調査銘柄 早見表

TOP		Solana		ChainLink		Mantle
中堅		Aerodrome Finance		Aethir		Linea
新規		Anoma				

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。こちらのマークを付与した銘柄のみ、AIによる相場分析の情報も記載しております。



有料
レポート

週次トークン価格高騰 TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド 10/3

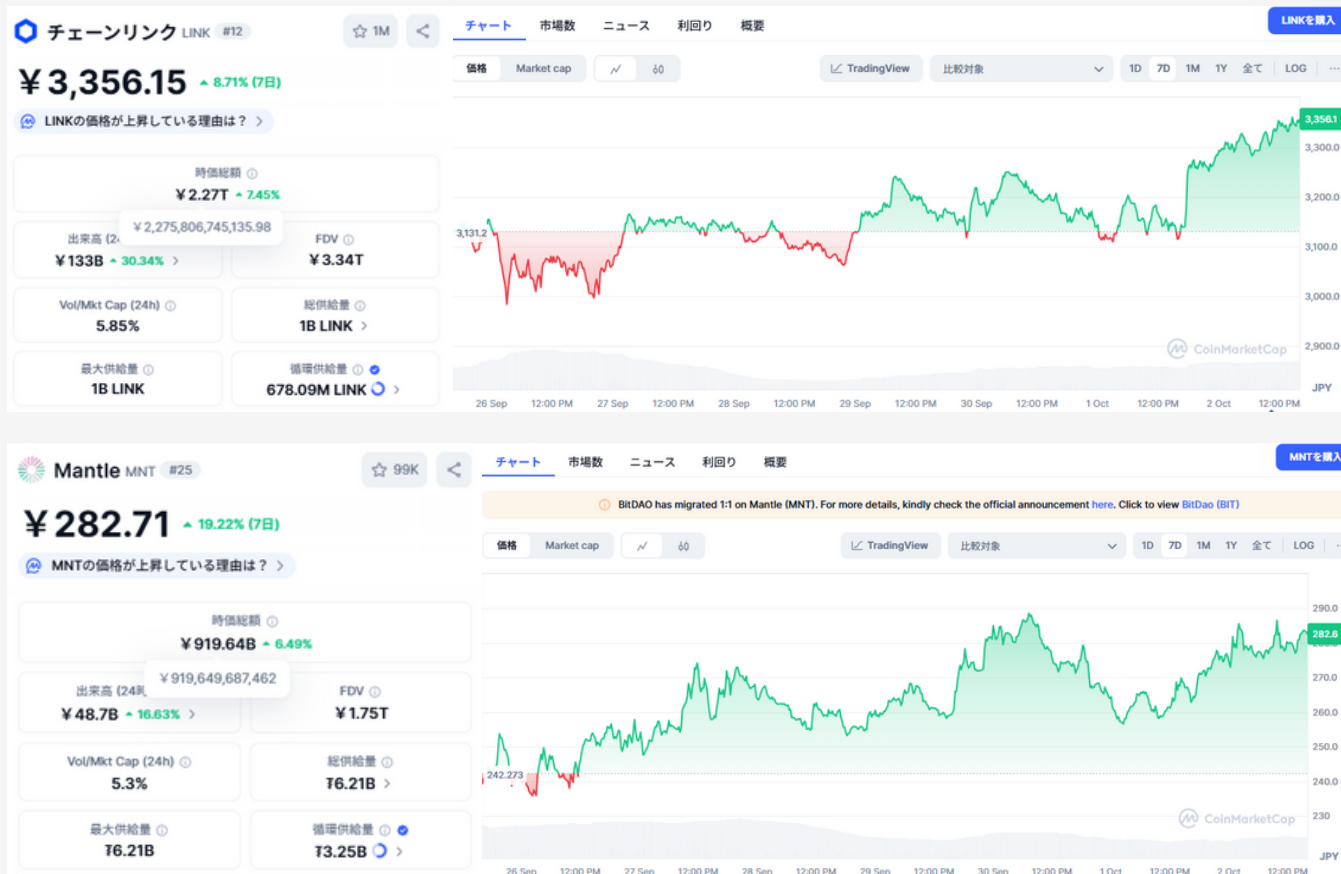
本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題となっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から、市場で何が起こったのか、どの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#6	 Solana	Layer1	¥17,993,702,095,194	¥33,109.65	4.32倍 (ETH比)	10.46%
#12	 ChainLink	Oracles	¥2,275,806,745,135	¥3,356.15	—	8.71%
#25	 Mantle	Layer2	¥919,649,687,462	¥282.71	—	19.22%

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、+4.86%となっております。





参照元：Coinmarketcap

銘柄の価格高騰要因(考察)



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、
とは 価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Solana：SOL (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で3度目の選出となります。

注目ポイント：大手企業ETF開始で資金流入加速へ

9/30 BloombergのアナリストがSolanaのETF承認をほぼ確実と報じ、銀行や機関投資家からの資金流入が期待されます。「ステーキング付きETF」が実現すれば、保有することでおおよそ6%の利回りを得ることができ、更なる注目が集まり市場での存在感が増すでしょう。また、Stablecoinのインフラとして、決済大手がSolanaを正式採用すれば、仮想通貨市場の主要資産として地位を確立し、安定的な資産流入と価格成長が見込まれます。

AIによる相場分析：SOL

現在のSOLは1枚あたり約231ドル（約3万5千円）で推移しており、短期的には220ドル（約3万3千円）付近が下支え、上は235ドル（約3万6千円）前後が壁となっています。中期では200ドル（約3万円）を割らなければ上昇継続が期待でき、長期的には260ドル（約4万円）を目指す動きも視野に入ります。押し目は220ドル（約3万3千円）付近が注目点です。

Chainlink : LINK (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で3度目の選出となります。

注目ポイント：「Oracle提供者」から「金融インフラ共創者」へ

10/1 Chainlinkは世界的な国際送金システムSWIFTおよびUBS銀行との協業を発表しました。銀行は既存システムを変えずにブロックチェーン技術を利用可能になります。これにより、金融インフラを統合することで、従来金融とDeFiの架け橋として機能し、\$100兆の資産管理業界でのトークン化推進に期待が集まります。今後、世界的大手銀行からの採用が続けば、巨大市場の標準インフラになる可能性が高まり、金融とブロックチェーンを繋ぐ中心的役割を果たすことが期待されます。

AIによる相場分析：LINK

現在のLINKは22.20ドル（約3,330円）付近で下支えされつつ、23.20ドル（約3,490円）の壁に挑戦中です。ここを超えれば24.50ドル（約3,700円）まで上昇余地があり、逆に22.20ドルを割ると21.30ドル（約3,210円）まで下げる可能性があります。短期的には22.20～22.40ドル（約3,330～3,360円）が買い場となりやすい状況です。

Mantle : MNT (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で5度目の選出となります。

注目ポイント：時価総額急伸、機関投資家参入で期待大

Mantleは、業界最大規模の約43億ドルの財務基盤を持ち、そのうち4億ドルを活用してBTC・ETH・SOL・USDを組み合わせた機関投資家向け商品の提供など、RWA市場への本格参入を進めています。以前レポートにて述べた通り「ZKロールアップ」を導入し、安全性と手数料削減を実現したことに加え、Bybitとの提携により20種類のMantleトークンペアの無料取引が可能となり、利用者が急増中です。直近、Lineaなど差別化されたレイヤー2が注目される中、Mantleもレイヤー2を引っ張る立場として時価総額ランキングを数ヶ月で40位台から30位台、9月末には20位台まで急伸。年末にかけて機関投資家の本格参入が進めば、中長期的にさらなる成長が見込まれる有力プロジェクトです。

AIによる相場分析：MNT

MNTは現在1.95ドル（約293円）付近で推移しており、2.00ドル（約301円）を超えると2.10ドル（約317円）まで上昇余地があります。一方で1.92ドル（約289円）を下回ると1.87ドル（約282円）、さらに1.80ドル（約272円）まで下がる可能性があります。中期的には上昇基調が続いていますが、短期的には調整が入りやすい局面です。

CMCサイト内 検索トレンド 狙い目：中堅銘柄

狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 10/3

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap（CMC）における過去7日間の検索トレンドや訪問者数、RSIを分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#81	 Aerodrome Finance	DEX	¥152,254,795,571	¥168.70	15.95倍 (HYPE比)	11.83%
#108	 Aethir	AI & Big Data	¥96,901,473,116	¥7.93	4.82倍 (TAO比)	-9.34%
#141	 Linea	Layer2	¥61,341,755,274	¥3.96	14.99倍 (MNT比)	2.92%

狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、+4.86%となっております。





参照元：Coinmarketcap

検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、
とは 価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Aerodrome Finance：AERO

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：希少価値上昇、安定したトークン成長

9/29 発表された最新のデータによると、直近の「エポック」(一定期間)で2,100万ドル(約30億円)ものプロトコル収益を生成しました。さらに注目すべきは、ユーザーがロック(預ける)したAEROトークンの量が、新規発行されるトークンの量を200万トークンも上回ったことです。これは市場に出回るAEROトークンの数が減り、希少性が高まる「デフレ化」が進行しているということです。今後Coinbase Walletでの稼働が増えれば、多数のユーザーが流入し取引量が大幅に増加することが期待されます。

Aethir : ATH

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：AIインフラで世界最大級の規模と成長

9/28 アメリカのNASDAQ上場企業Predictive Oncology（ティッカー：POAI）から344億円という巨額の戦略的投資を受けることが発表されました。これはDePIN（分散型物理インフラネットワーク）プロジェクト史上、最大級の機関投資家による投資です。Aethirは「分散型GPU」という仕組みで、ChatGPTのようなAIサービスを動かすために必要な膨大な計算能力を提供しています。今後AIの利用がさらに増えることから、Aethirのサービスの需要も大きくなり、投資を受けたことでさらに規模が拡大する見込みです。中長期的に成長が期待されています。

Linea : LINEA (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：SWIFT採用、国際銀行送金で実績構築

9/26 Lineaは国際送金システムSWIFTの実証実験に採用されました。銀行間送金で求められる高度なセキュリティを満たし、世界的に信用されるプロジェクトとなりました。実証実験が成功し参加銀行が拡大すれば商用化が加速するでしょう。また、ConsenSysという開発チームとの関係性の傘下が運営するMetaMaskのような主要ウォレットにて活発に稼働が進めば、市場評価と時価総額が大きく上昇する可能性があります。

AIによる相場分析：LINEA

LINEA/USDTは現在0.0266ドル（約4.1円）付近で小さな動きにとどまっています。0.0270ドル（約4.2円）を超えれば0.0280ドル（約4.4円）から0.0300ドル（約4.7円）まで上がる可能性があります、0.0260ドル（約4.0円）を割ると0.0255ドル（約3.9円）、さらに0.0240ドル（約3.7円）まで下がる恐れがあります。

大穴：新規銘柄 発掘ガイド 10/3

このガイドでは、将来有望な「大穴銘柄」を発掘するため、CMC上で時価総額ランキング250位から500位に位置する銘柄を調査し、成長性の高い銘柄を選定する手法と、Tier1 VCが投資する銘柄の中から直近7日間で時価総額が急上昇したものを分析する手法を採用しています。大穴銘柄は、TOPや中堅銘柄の分析とは性質が異なり、時価総額が低いことから成長の幅が期待できる反面、リスクも伴うため、リスクリターンのバランスを慎重に判断する必要があります。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#181	 Anoma	Infrastructure	¥39,875,620,193	¥15.95	11.72倍 (TAO比)	—



Anoma : XAN

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：複雑な仮想通貨取引を簡単にする新技術

9/28 Anomaのネットワーク「Ethereum Mainnet Phase 1」を公開しました。Anomaの最大の特徴は、「インテント中心OS」という全く新しいアプローチです。ユーザーは「こうしたい」という意図（インテント）を入力するだけで仮想通貨間の交換や手数料の計算が自動化され、初心者でも利用が簡単になります。すでに約60億円の資金を調達済みとなり、今後は大手プロジェクトとの連携やシステム統合が進むほど、実際の利用（実需）が生まれやすくなります。導入事例が増えるにつれて、Anomaが市場でどう評価され、どのように成長していくかが一層明確になるでしょう。

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap : <https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp : <https://www.coincarp.com/>
- Messari : <https://messari.io/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDOI

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト： <https://tsudoi-platform.co.jp/>